

1989	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	.	.	.	.

● 毎月15日は川崎市民地震防災デーです。

# 備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。  
 そなえる…用意する、そろえる、用心する  
 防備。常備。完備。不備。具備。兼備。  
 そなえ…したく、用意、警戒、防衛  
 備品。設備。備蓄。備員。備考。備忘。  
 そなわる…準備ができる、身に付く  
 ●●●ソナエ アレバ ウレイナシ!!



かわさき  
 防災広報紙

NO.  
**53**

昭和63年12月31日発行  
 発行●川崎市  
 編集●土木局防災対策室  
 〒210 川崎市川崎区宮本町1番地  
 TEL.(044)200-2111内線2841

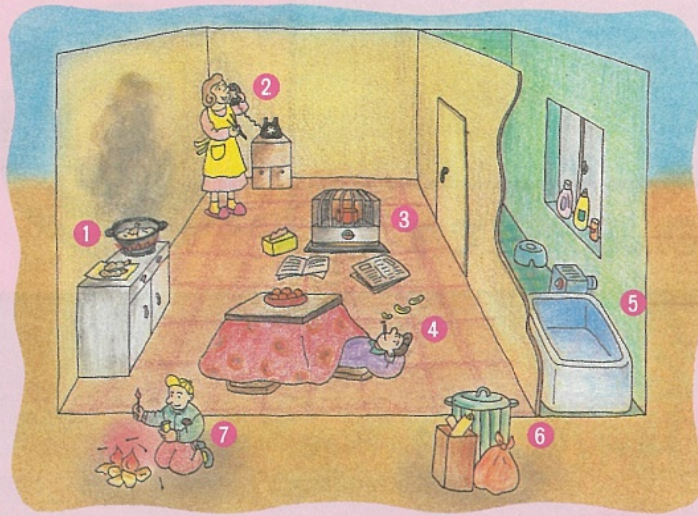
ほら日本人は、年の初めから  
 防災意識を忘れない国民だったんだよ。



正月になると街角で見かける出初め式。  
 もともとは、消防夫たちが消火にまつわる熟練したわざを披露し  
 町の人々に安心感を与え、また一年大きな火災に  
 見舞われないよう願をかけるための儀式だった。  
 今日消火能力は、もちろん昔と比較にならないけれど。  
 これだけ強い防災意識が、遠い過去から脈々と  
 日本人の中に流れ続けていることを誇りに思う。  
 冬は空気が乾燥している一方で、特に火を多く使う季節。  
 地震のときも、二次的におこる火災が一番恐ろしいと言われています。  
 わが家から火を出さないためにも、もう一度火元のチェックを。  
 そして年の初めから、きちんと心の元栓をしめしましょう。



- ①コンロの消し忘れ、切り忘れに注意。使い終わったら元栓もしめる。
  - ②天ぷらなべなどを火にかけたままで、その場を離れない。ちよつとでも離れるときは、必ず火を消す。
  - ③ストーブやコンロなどの近くに、燃えやすい物を置かない。
  - ④寝たばこはしない、させない。吸がらはくずかごに捨てない。
  - ⑤ふろのからだきをしない。
  - ⑥家のまわりに燃えやすい物を置かない。
  - ⑦子どもに火遊びをさせない。
- 火の恐ろしさを教えておく。

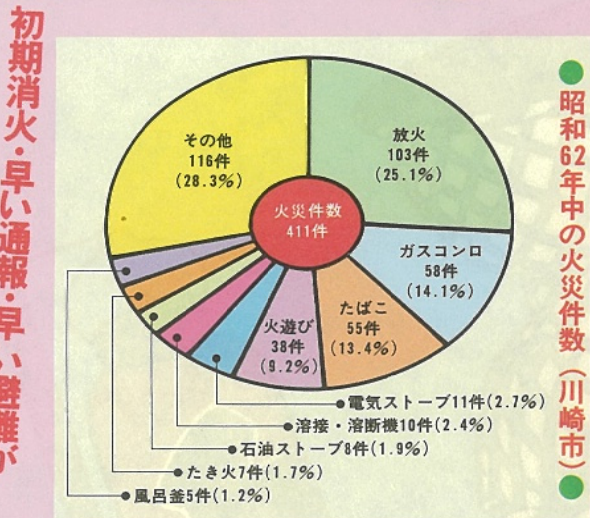


あなたの家の安全チェックをしましょう。

# ふだんから火の用心

私たちのふだんの暮らしの中での火災を防ぐひとつひとつの積み重ねが、大地震の時の火災を防ぐことにつながっていきます。

## 火を出しませんわが家から



昭和62年中に川崎市内では、411件の火災が発生しましたが、その出火原因のトップは放火103件となつて居ることからも、もう少し、家のまわりに燃えやすい物を置かない、また、コンロに起因する火災が58件あつたことから、火を使っている時は、そばを離れない、よう心がけましょう。

初期消火・早い通報・早い避難が生命と財産を守ります。

- 地震が起きたら、まず火を消す習慣を身につけておくことが大切ですが、万が一火災が発生した場合には、隣り近所や自主防災組織の協力のもとに初期消火に努めましょう。
- また、忘れてはいけないのが119番への通報です。あわてず、正確に通報しましょう。
- 炎の高さが身長より高くなって、天井に燃え移ったら、一番大切な生命を守るためにすばやく避難しましょう。

お年寄り・幼児。体の不自由な人たちを火災から守りましょう。



火災のとき、お年寄りや幼児などの犠牲がずいぶん多くなつて居ます。(昭和62年中に全国で発生した火災による死者をみると、61歳以上の高齢者と5歳以下の乳幼児を合わせると全体の半数以上を占めています。)

火災が発生したら、こうした社会的に弱い立場にある人のことも考えて、家族や隣り近所の人たちと一緒に、みんなで協力し、火災から守りましょう。

**地震防災 一声運動**

(隣り近所の安全は、わが家の安全)  
「火はだいじょうぶですか」けが人はありませんか」と、地震のときに隣り近所の人に声をかけ合う、地震防災一声運動は、火災の防止と、けが人の迅速な応急手当に結びつき、地域の安全に大きな力となります。

## 防災Q & A 7

### 大地震が発生した場合、どんなことが心配ですか?

川崎市民(調査対象754人)を対象に、大地震発生時何が心配かを尋ねたところ、最も多いのが「火災が起きること」で85%、以下主なものとして、「家族と連絡がとれなくなること」65%、「食糧、飲料水等が不足すること」62%、「パニックが起きること」61%、「家が倒れたり壊れたりすること」56%、「正確な情報が得られなくなること」53%となっています。(重複回答)

この調査からも、みなさんが大地震に伴う「火災」を心配していることがよくわかります。

〈消防に関する市民意識調査報告書 昭和63年11月 川崎市消防局より〉

## 体験談 52

### 大火を経験して

三沢大火から (青森県三沢市提供)

私は、今まであんなおそろしい目にあつたことはありません。もうあんなおそろしいことを、くり返してもういたくありません。あれは、たしか1月11日、火曜日のことでした。

私は、お昼ごはんをすませ、珠算塾へ向かいました。

行く途中で、火事を知らせるサイレンが聞こえてきました。

私は、いままでも大火にあつたことがないので、「どこかのぶたごやだな」と思つていました。

塾へつき、中へ入つたたん、サイレンがけしなくなり、まどからのぞいてみると、ものすごい煙が見えました。

黒いような、赤いような、今まで一度も見たこともないものすごい煙です。

私は、びっくりして、急いで家に帰りました。

家へ入つて、自分のかばんへ、教科書、ノート、ふでばこ、冬休み帳、したじきなどをいれて、しまいました。

手さげにも、いれました。

私は、洋服もとうとうとして、たんすを見ましたが、すでに、おかあさんがふるしきへ、いれていて、からっぽでした。

私は、こわくてこわくて、足のふるえが、

※三沢大火 出火日時：昭和41年11月14日14時14分頃、鎮火時刻：同日19時55分、風向：西、風速：22.1m/s、26%、全焼：418戸、半焼：828世帯、罹災人口：21,522人

もう近所のおじさんたちも、あきらめたらしく、水をかけるのもやめて、荷物を出してしまいました。

私たちも、もうあきらめて、市民会館へ、ひなんしました。

オーバーをきいていてもさむいので、ふとんをかぶり、横になりました。

(一部省略)

私は、今までもあんなおそろしい目にあつたことはありません。もうあんなおそろしいことを、くり返してもういたくありません。あれは、たしか1月11日、火曜日のことでした。

私は、お昼ごはんをすませ、珠算塾へ向かいました。

行く途中で、火事を知らせるサイレンが聞こえてきました。

私は、いままでも大火にあつたことがないので、「どこかのぶたごやだな」と思つていました。

塾へつき、中へ入つたたん、サイレンがけしなくなり、まどからのぞいてみると、ものすごい煙が見えました。

黒いような、赤いような、今まで一度も見たこともないものすごい煙です。

私は、びっくりして、急いで家に帰りました。

家へ入つて、自分のかばんへ、教科書、ノート、ふでばこ、冬休み帳、したじきなどをいれて、しまいました。

手さげにも、いれました。

私は、洋服もとうとうとして、たんすを見ましたが、すでに、おかあさんがふるしきへ、いれていて、からっぽでした。

私は、こわくてこわくて、足のふるえが、

もう近所のおじさんたちも、あきらめたらしく、水をかけるのもやめて、荷物を出してしまいました。

私たちも、もうあきらめて、市民会館へ、ひなんしました。

オーバーをきいていてもさむいので、ふとんをかぶり、横になりました。

(一部省略)